

【第4回】歩行者傷害軽減ボデーの構造と診断ポイント ～フロントバンパローアブソーバ編～

1.構造

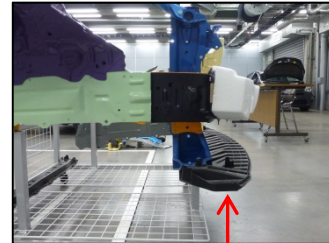
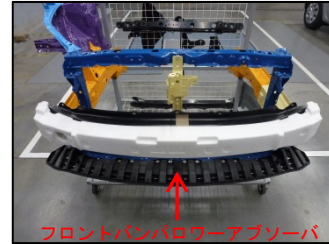
- フロントバンパローアブソーバは樹脂製（一般にPP）で、歩行者との衝突において人の脚部を払い上げる役割を担っています。
- 前端はフロントバンパ下部、後端はラジエータサポートローに取り付けられています。

【無損傷車】



トヨタアクア NHP10系

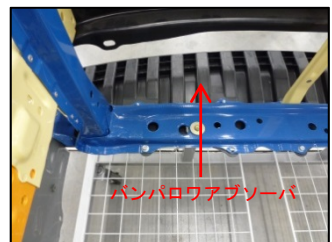
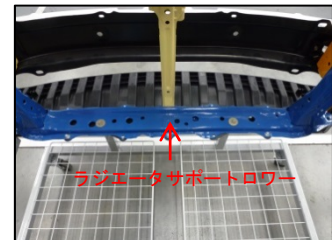
【内板・骨格教材】



2.診断ポイント

- フロントバンパ下部に入力した場合、バンパローアブソーバの損傷確認が必要です。ラジエータサポートローとの取付け部に割れや欠けが発生することがあります。
- また同時に、取付けられているラジエータサポートローの曲がりも多く見られます。バンパローアブソーバにはリブ（縦方向の溝）が多く配され強固に作られています。

※バンパローアブソーバは取付け部が損傷した場合には取替となります。また強固な作りのためラジエータサポートローの変形に注意が必要です。



【まとめ】

4回のシリーズでご紹介しました。これらは全て自動車研究所の教材として実物があり、「見て」「触って」より理解を深めていくことができます。また、自動車研究所の見積技術セミナーは現物教材を基本として体系的に展開しておりますので、「分かり易い」「理解が深まる」と好評です。是非貴方も受講してみませんか！！